

# 日仏セミナー

主催：日仏社会法ネットワーク・科学研究費基盤（B）「デジタル化と社会保障法」  
Persmed Lab (FFJ/Air Liquide)

## デジタル時代における個別化医療の境界と存在様式

2023年10月27日（金）15：00～17：00

講師：Thomas Lefèvre 氏（ソルボンヌ・パリ北大学准教授、医師）

司会：笠木 映里（東京大学教授）

### 講演概要：

少なくとも古代以来、医療というプログラムは3つの要素に基づいている。すなわち、専門家(医師)、病気とそれを予防・除去する手段に関する知見、そして人-受診する人-すなわち「患者」である。そのため、医療とは、その性格上、そもそも個人的(individuel)であると共に、パーソナライズされた(personnalisé)ものである。他方で、過去10年ほどにわたり、個人化医療、あるいは、個人化・予防(préventif)・参加(participatif)・予見(prédictif)の頭文字をとった4P医療が、医療業界において改めて関心を集めている。そして、ここで強調される個人化(personnalisation)は、医療現場における少なくとも2つの局面-予防と治療-に関係している。近年、一方では、医学生物学的健康モデル(エビデンスに基づく医療の重要性の拡大により、今日支配的となっている)及びリスク要因にかかわる疫学や概念の発展、他方では、ゲノム解読やデジタル技術のような技術の登場によって、予防・治療のために用いられ得る手段が拡大してきた。

今日、個人化医療にかかる言説は様々なアクターによって異なる利害に依拠して行われており、そこでは個人化医療の多様な定義が用いられる。本報告では、社会学・応用認識論・医学のアプローチを交錯させ、これらのアクター(医療職、技術開発を行う企業、財源負担者など)の立場、そこから引き出される個人化医療の定義、そして、こうした言説が医療の実務やフランスの医療制度に及ぼしている、あるいは及ぼしうる影響について議論する。また、社会的なものとの個人的なものとの連携、及び、個人化の非技術的な側面についても言及する。

### 開催形式：ハイブリッド形式

会場▶法3号館8階大会議室※

※収容人数の関係で、人数制限をする場合もございますのでご了承下さい。

オンライン▶Zoom社の(Webシステム)ミーティングを利用

### 使用言語：日本語・フランス語（同時通訳付）



参加申込：参加ご希望の方は、前日26日（木）15時までに、右のQRコードまたは  
<https://forms.gle/LUb94xGALuaUtDoY7>よりお申込みください。

※ご参加の形式も含め、参加申込後にご登録のメールアドレスにご案内をお送りいたします。



#### 【問い合わせ先】

東京大学大学院法学政治学研究科  
先端ビジネスロー国際卓越大学院プログラム事務局